

## 予 算 要 求 資 料

令和3年度3月補正予算

支出科目 款：衛生費 項：医務費 目：医務費

### 事業名 新医療技術者養成学校環境整備費補助金（R4分）

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

健康福祉部医療福祉連携推進課医療人材確保係 電話番号：058-272-1111（内2626）

E-mail：[c11230@pref.gifu.lg.jp](mailto:c11230@pref.gifu.lg.jp)

1 事業費 2,000千円（現計予算額：0千円）

#### <財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
現 計 予算額	0	0	0	0	0	0	0	0	0
補 正 要求額	2,000	0	0	0	0	0	0	0	2,000
決定額									

## 2 要求内容

### (1) 要求の趣旨（現状と課題）

本県における理学療法士・作業療法士・言語聴覚士数は、全て人口10万人当たりで全国平均を下回っている状況でありながら、高齢化の進展に伴い医療需要の増加が見込まれ、今後、医療技術者のリハビリテーション専門職の需要は増加すると考えられる。

また、新型コロナウイルスの感染拡大が長期化していることもあり、医療技術者養成学校において、遠隔授業を始めとしたデジタル技術を活用した教育環境を実現する為のニーズが増している。

そのため、医療技術者養成学校におけるデジタルトランスフォーメーションを推進し、教育環境を向上させることで、担い手を確保することが求められる。

### (2) 事業内容

デジタル技術を活用した高度な教育環境を実現するための環境が未整備

の医療技術者養成学校に対して、実施に必要なとなるネットワーク整備及び機器購入等に係る経費を補助する。

(3) 県負担・補助率の考え方

基準額（上限額） 2,000 千円／校（補助率 1/2）

(4) 類似事業の有無

看護師養成所等環境整備費補助金

### 3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	2,000	デジタル技術を活用した教育環境を実現するために必要となるネットワーク整備、機器購入費等経費に対する補助金
合計	2,000	

### 決定額の考え方

### 4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

第7期岐阜県保健医療計画

岐阜県デジタル・トランスフォーメーション推進計画（素案）

(2) 国・他県の状況

国として、DX事業を推進している。

(3) 後年度の財政負担

デジタル技術を活用した教育環境の整備を図る為、引き続き支援していく必要がある。

(4) 事業主体及びその妥当性

医療介護の双方に必要な職種の育成であり、県が主体となって育成・確保を推進していく上でも妥当な補助事業であると言える。

## 県単独補助金事業評価調書

新規要求事業

継続要求事業

(事業内容)

補助事業名	医療技術者養成学校環境整備費補助金
補助事業者（団体）	医療技術者養成学校 (理由) 当分野の養成学校への整備が不十分なため
補助事業の概要	(目的) デジタル技術を活用した高度な教育環境を実現するための環境整備 (内容) 必要となるネットワーク整備及び機器購入等に係る経費補助
補助率・補助単価等	定額・ <u>定率</u> ・その他（例：人件費相当額） (内容) 2,000 千円/校（上限） 1/2 (理由) 県として、DX 事業を推進しているため、1/2 までの負担は妥当である。
補助効果	デジタル教育環境が整備される。
終期の設定	終期 令和 8 年度 (理由) 岐阜県デジタル・トランスフォーメーション推進計画の計画期間が令和 4～8 年のため

(事業目標)

<p>・終期までに何をどのような状態にしたいのか</p> <p>デジタル技術を活用した教育環境が不十分な医療技術者養成学校の教育環境を整える必要がある。</p>
--

(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前 (R3)	R2 年度 実績	R3 年度 目標	R4 年度 目標	終期目標	
						達成率
① 導入校数	R3: 0 校	-	-	1 校	R8: 1 校	100%
② 理学療法士等の 人数	H27: 1,501 人	-	-	-	R7: 1,997 人	%

	H30 年度	R 元年度	R2 年度
補助金交付実績	千円	千円	千円

(これまでの取組内容と成果)

令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>取組内容と成果を記載してください。</li> </ul>
	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%
令和3年度	令和5年度当初予算にて追加
	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%
令和4年度	令和6年度当初予算にて追加
	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> <li>事業の必要性 (社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない</li> </ul>	
(評価)	
<ul style="list-style-type: none"> <li>事業の有効性 (指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり (単年度目標 100%達成かつ他に特筆できる要素あり) 2：期待どおりの成果あり (単年度目標 100%達成) 1：期待どおりの成果が得られていない (単年度目標 50~100%) 0：ほとんど成果が得られていない (単年度目標 50%未満)</li> </ul>	
(評価)	
<ul style="list-style-type: none"> <li>事業の効率性 (事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている</li> </ul>	
(評価)	

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> <li>事業が直面する課題や改善が必要な事項</li> </ul>
--

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> <li>継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか</li> </ul> <p>医療や介護の現場からの強いニーズがあり、一定の成果を挙げるまで継続すべき事業である。</p>
---